

氏名	望月浩江	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	小児看護学				
学位	修士				
学歴	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護専攻修了				
経歴	2012埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本小児看護学会、小児保健協会、日本看護科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	小児医療施設の看護過程にセルフケア理論を取り入れた教育介入の質的な効果検証	共著	あり	日本小児看護学会誌,32,150-158	望月浩江, 添田啓子, 田村佳士枝, 櫻井育穂, 辻本健, 瀧田浩平, 平田美佳, 近藤美和子, 中田尚子	2023.7
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	小児集中治療の看護師が捉えるこどもの力の見えづらさとこどもの力を引き出す支援	共同	日本小児看護学会第33回学術集会,横浜	○望月浩江, 添田啓子, 田村佳士枝	2023.7	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学奨励研究A	小児集中治療の看護師が捉えるこどもの力の見えづらさとこどもの力を引き出す支援		研究代表者	2023.4~2025.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅰ		4	4回の授業内で実施するワークにおいて学生の討議を支援し、課題の評価を行った。		
2	小児看護学Ⅱ		2	「慢性疾患総論」「1型糖尿病をもつ子どもと家族の看護」「アレルギー疾患をもつ子どもと家族の看護」を担当し、学生が慢性疾患をもつ子どもと家族の成長発達に合わせた看護を理解できるよう講義を行った。		
3	小児看護学Ⅳ	○	3	学生が事前課題として行った事例展開が深められるようGWの支援と講義を行った。学生が事前学習をグループで共有しながら深められるように、ZOOMや動画を活用した。		
4	子どもの保健		1	社会福祉子ども学科学生を対象に子どもの感染症と保育所での対応について講義を行った。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学Ⅲ		15	2グループ(学生16名)を担当し、グループ討議、学習を通し、学生がネフローゼ症候群を発症した子どもと家族の看護の必要性・方向性をグループ討議の中から見出せるように支援を行った。遠隔でのGWであったため、学生の討議が円滑に進み学習が深まるように支援した。
2	小児看護学Ⅳ	○	15	VSの測定、清潔ケアの技術習得を担当した。学生が事例の子どもの消耗を最小限に回復に向けた看護実践を主体的に検討しながら獲得できるように支援した。また清潔ケアの技術、こどもの安全を守る看護技術を学生が修得できるように支援した。
3	子どもの保健		3	保育士を志す学生が子どものVS測定、計測、医療的ケア等の技術を理解できるように支援を行った。
4	子どもと家族のヘルスプロモーション		7	学生が小児看護領域のエキスパートにインタビューができるよう学生のGWを支援した。またインタビューからの学びをヘルスプロモーションの視点で考察できるように支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学実習		2023.08～12	2施設22名の学生を担当し、学生が受け持ちの児と家族の全体像に合わせた看護展開、児の安全を守ることができるよう支援した。
2	IPW実習		2023.10	学生6名を担当し、学生が事例をとおして多職種連携の実際をグループ検討を通して検討できるように支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2024.01	主指導 2	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本小児看護学会第33回学術集会テーマセッション (ファシリテータ)	日本小児看護学会倫理委員会	その話し合い、こどもが主語になっていますか?～小児看護の現場で「こどもの最善」を考えていくために～	2023.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本小児看護学会	倫理委員会		2023.07～2025.06
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県立小児医療センター	看護研究指導	2023.04～2024.03
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会		2023.04～2024.03
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健センター員		2023.04～2024.03
3	学生支援	2年次担任		2023.04～2024.03

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		